

第2回 伏見出張所管内河川レンジャー運営会議 議事要旨

開催日時 : 平成 17 年 7 月 13 日 (水) 14:00 ~ 16:00
場 所 : 淀川河川事務所 伏見出張所 別館 2 階 会議室
参加人数 : 運営会議委員 8 名、オブザーバー 3 名、事務局 5 名、傍聴者 15 名

1. 決定事項

伏見出張所管内河川レンジャーの平成 17 年度年間活動計画(案)は、審議を経て、成案として決定された。

2. 懇談会の概要

「第2回 伏見出張所管内河川レンジャー運営会議」について

事務局より委員の紹介および資料の確認が行われた。また、今回よりオブザーバーとしての参加を得られた宇治市・八幡市・久御山町の紹介が行われた。その後、栗山委員(運営会議代表)より第2回運営会議の開催に際しての挨拶が行われた。

平成 17 年度河川レンジャー活動計画(案)の審議・決定

永山河川レンジャーおよび松岡河川レンジャーにより、「資料 - 1 平成 17 年度 河川レンジャー年間活動計画(案)」を用いて、第1回運営会議の内容を踏まえて修正された平成 17 年度河川レンジャー活動計画(案)について説明が行われた。

その後、委員によって平成 17 年度河川レンジャー年間活動計画の審議が行われ、活動に対する意見交換が行われた。主な意見については「3. 主な意見」を参照。

3. 主な意見

平成 17 年度河川レンジャー活動計画(案)について

<京都伏見ジュニア河川レンジャー>

「京都伏見ジュニア河川レンジャー手帳」の内容はどのようなものを予定しているのか。

川や災害についての情報や、川に対する関心を高めるための活動の紹介等を考えている。詳細については、活動に協力いただいている小学校の教職員と協議していきたい。京都伏見ジュニア河川レンジャーのクラブ組織化についてはどのような見通しを持っているのか。

現在は京都伏見ジュニア河川レンジャーのための事務局が無いことなど、組織の不整備があると思うが、平成 23 年度頃にクラブ組織化の本格的な検討が始められると考えている。今後もクラブ組織化を視野に入れて活動を行っていきたい。

活動に参加している小学校が、持ち回りで京都伏見ジュニア河川レンジャーの事務を担うことはできないか。

活動に参加できる地域が限られていることや、学校単位ではなく学年単位での活動であることを考えると実現は難しいと思う。しかし、河川レンジャー活動が生徒の学習に役立つということに理解を得られれば、不可能ではないと思う。

今後、河川レンジャーネットワーク協議会が設立できれば、参加団体からの支援を受けられると思う。

<山科川周辺改善懇談会>

今後、山科川周辺改善懇談会において、河川レンジャーはどのような役割を担うべきと考えているのか。

懇談会は地域住民が主体となって運営し、河川レンジャーは行政との連携や資料の収集等で協力していきたいと考えている。整備後の維持管理なども考えると、いずれは整備箇所周辺の特性を把握している地域住民が河川レンジャーとなるのが適当だと思う。

<伏見三栖自然観察会>

伏見三栖自然観察会を通じ、多くの人に伏見の豊かな自然を体感してほしい。松岡河川レンジャーには、活動をさらに広報し、活動に協力してもらえる人や団体を充実させ、広がりのある活動を行ってほしいと思う。

伏見三栖自然観察会を土曜塾の講座とすれば、多くの人の関心を集めることができると思う。

その他

<京都伏見ジュニア河川レンジャー>

京都伏見ジュニア河川レンジャーの活動に参加した小学生に質問したところ、河川に対する意識が高まったと答えたのは半数程度であった。河川に対する意識の向上には、継続した活動が重要だと思う。

<山科川周辺改善懇談会>

山科川周辺改善懇談会において、地域住民から整備に対する反対意見が出ているとあったが、京都府でも鴨川公園等で同様の問題を抱えている。川の利用形態のあり方について、地域住民が話し合う場を設けたり、さまざまな意見を聴取する役割を河川レンジャーには期待している。

不法耕作や不法占用などは行政が排除すればよいのではないか。

河川管理上重大な障害をもたらすものでないかぎり、強制的な排除は難しいと考えている。問題の解決には、河川の望ましい利用のあり方について、地元の意識形成が重要だと思う。

<河川レンジャーについて、その他>

現在、行政や淀川水系流域委員会で宇治川の整備について検討されているが、行政では治水効果や対費用効果についての議論が先行し、地域住民が川に親しむための配慮が不足していると思う。河川レンジャーが住民会議を立ち上げるなど、広く地域住民の意見を聴取し、河川整備に参画してほしいと思う。

河川レンジャー活動をしていると、河川の不法な利用についてのさまざまなクレームを聞く機会があるが、宇治川塔の島周辺ではそのような問題は起きていないか。

塔の島周辺では地形状況などから不法な利用はみられないが、宇治橋より下流では不法占用や不法投棄が発生している。そのような問題は、地域住民が近づきにくい川となっている原因のひとつだと思う。

久御山町でも伏見三栖自然観察会と同種の活動をしており、河川レンジャーの主催する活動にも参加していきたい。

伏見三栖自然観察会のような活動を通じて河川に対する住民の関心が高まる。松岡河川レンジャーには、活動の対象地域を広げてほしいと思う。